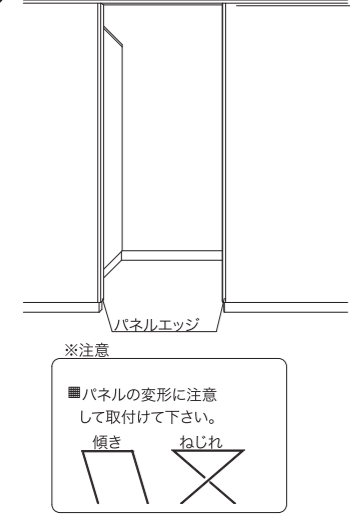


# オレルートUD 組立手順 (常開式)

## ① ブースパネルの取付

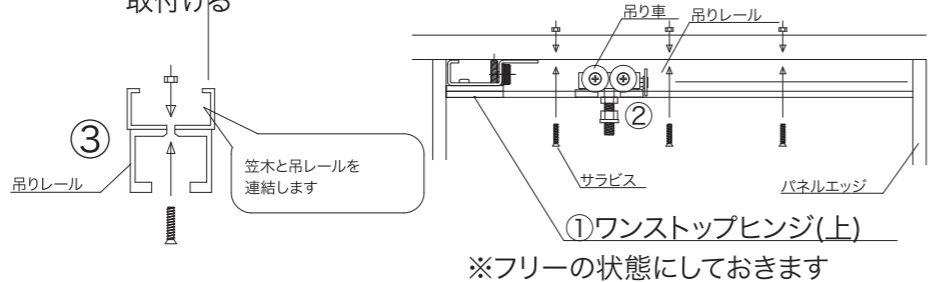


## ② パネルエッジの取付

● パネルエッジF用組立手順(別紙)を御覧下さい。

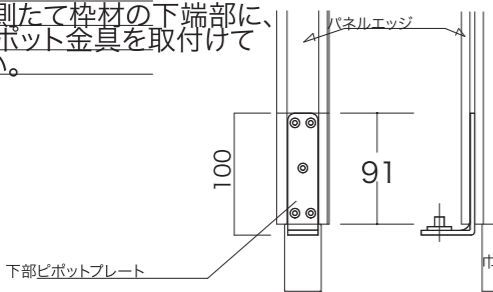
## ③ 吊りレールの取付

- ① ワンストップヒンジ(上)を吊元側位置に入れる
- ② 吊車の向きを合せレールに入れる
- ③ 吊レールを笠木に付属のビス&ネジで取付ける



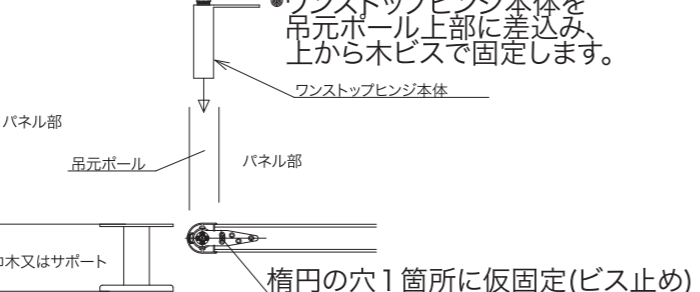
## ④ 下部ピボットの取付け

● 吊り元側たて枠材の下端部に、下部ピボット金具を取付けてください。



## ⑤ ワンストップヒンジ(上)の取付

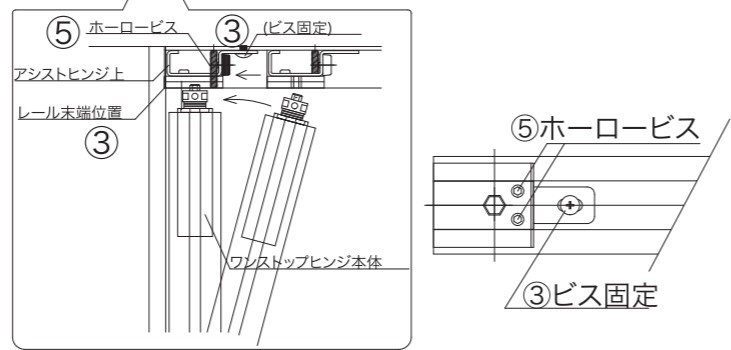
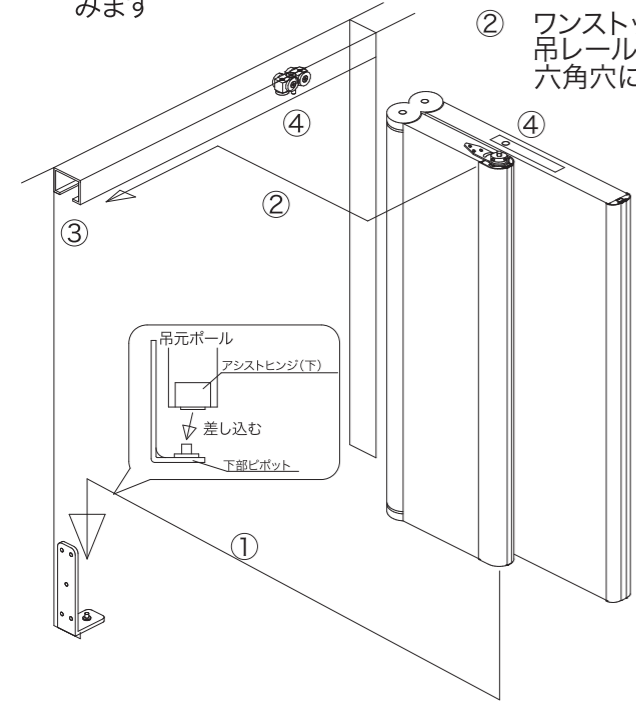
● ワンストップヒンジ本体を吊元ボール上部に差込み、上から木ビスで固定します。



## ⑥ ドアの吊り込み

自開式の場合ドア(小)を吊りレールと直角にした状態で吊込みます

- 吊り込み手順
- ① 下部ピボットへ吊元ボールの下の軸受けを差し込む。
  - ② ワンストップヒンジ本体の回転軸を吊りレール内のワンストップヒンジ(上)六角穴にスライドさせながら入れる
  - ③ ワンストップヒンジ(上)をスライドさせ、吊りレールの末端位置でビス止めします
  - ④ ドア上部のランナーアームと吊車を連結する

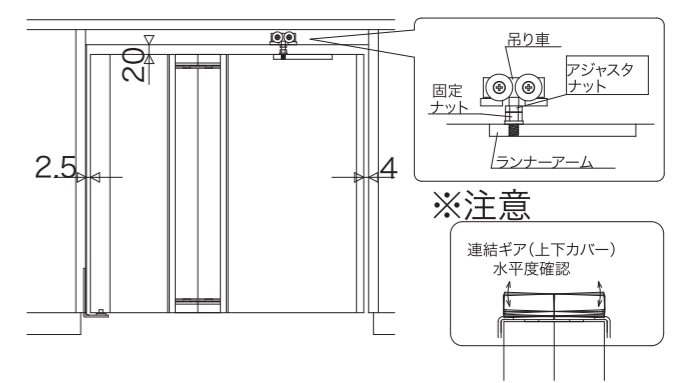


- ⑤ ワンストップヒンジ(上)のホーロービス(2箇所)を各所隙間の確認調整が済んだ後、付属の六角レンチで固定します。

● オレルートUDシステム金物は、ドアパネル重量30kg以下として下さい。  
※各パーツ仕様は予告なく変更されることがあります。

## ⑦ ドアの高さ調整と動きの確認

- 吊りレール下とドア上端部の隙間を20mmにして下さい。
  - 吊り車の高さの調整はアジャストナットを廻して行います。
  - ドアの動きを確認しながら、ドアとの隙間を調整して下さい。
  - 吊車でドア(大)の荷重を受けているか、浮きがないかを確認。
- ※調整後、固定ナットを緩まないよう締めつけて下さい。

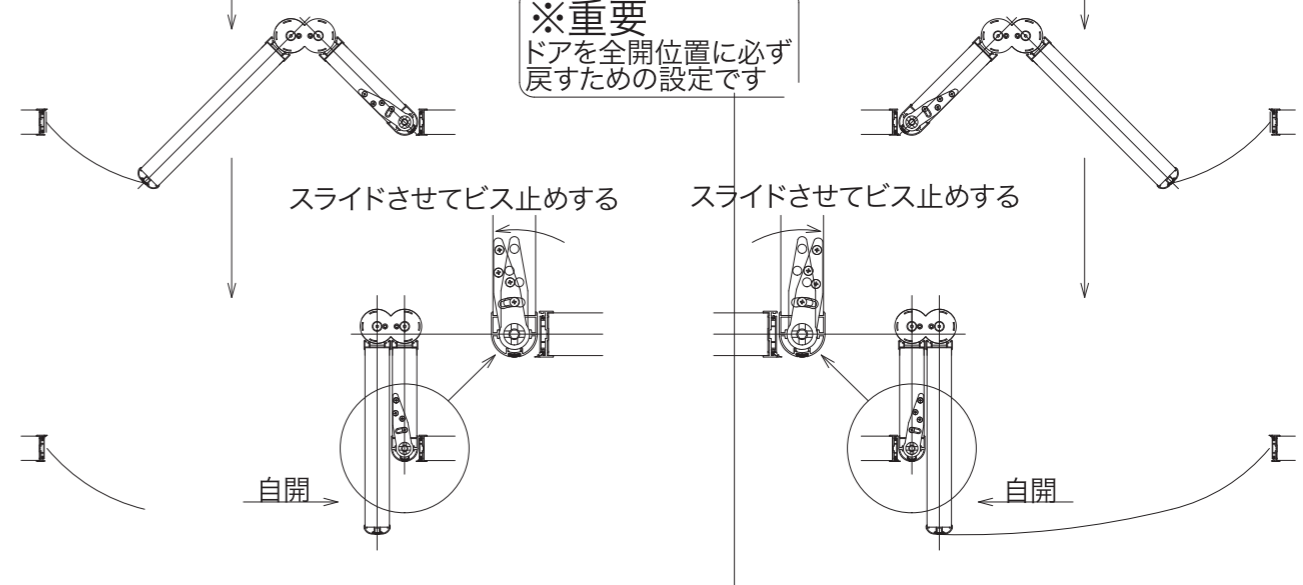


## ⑧ ワンストップヒンジの位置設定

右吊元(R)自開式の場合

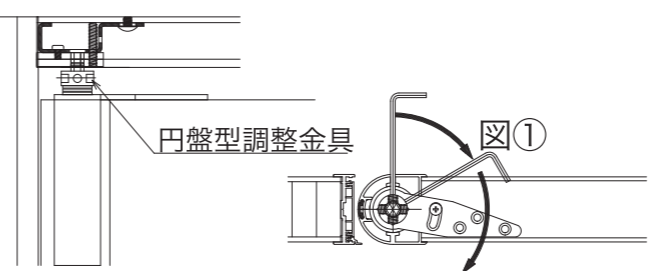
ワンストップヒンジは自開設定の扉を閉時に閉状態で保持させる機能を備えています

左吊元(L)自開式の場合



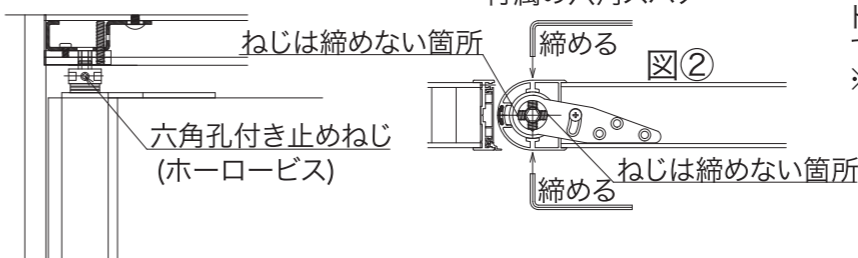
## ⑨ 開く速度の調整

ドアを閉めた状態にします  
付属の六角レンチを円盤型調整金具に差込み時計方向へ90度ごとに調整可能です(図①)  
適度に調整し、ドアを開閉して見て位置決めして下さい。



## ⑩ 円盤型調整金具のねじ固定

ドアを閉めた状態にします  
六角孔付き止めねじ(ホーロービス)がドアの裏表面と平行になる位置(図②)で六角スパナで締め付ける  
※他の2箇所は固定しない事



ねじを固定しないと、使用中にゆりみ、開く速度に重大な影響がありますのでご注意ください。